

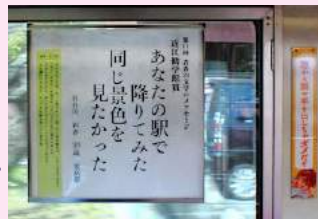
# 特集：文字で、演劇で、もっともっと伝えたい！

大津のまちには文学や演劇など多彩な表現でまちを彩る方々がおられます。今回はその中から「電車と青春21文字プロジェクト」の福井美知子さんと、障がい者、スタッフみんなで作る劇団「まちプロ一座」の片岡博さん、中川佑希さん、上田芳雄さんにお話を伺ってきました。

## 21文字でまちの魅力を伝える「電車と青春21文字プロジェクト」

### 《京阪石坂線の駅の数・21文字の表現を》

大津の中心部を走る京阪石坂線には21の駅とたくさんの学校がある。青春を感じさせる通学路線ということから「青春21文字のメッセージ」を募集。21文字は新しい形の文芸表現として、中学や高校の国語の授業でも取り上げられる存在となり、11回目となった今年も沿線の学校をはじめ、全国から多くの作品が寄せられました。



京阪電車に掲載された作品

### 《「応募は全国から」 歌人俵万智さんが審査員》

事業が始まった2006年の第1回から、最終審査は俵万智さんにお願いし、回を重ねるごとに10代の応募が増えています。今回も半数以上が10代の作品。俵さんも「21文字という独特のリズムが、ツイッターなどで短い文字表現に親しんでいる若者になじみやすいのでは」と評価し、ある高校教諭は「中学校の教科書に登場する俵万智さんが審査員なのが、生徒たちに創作意欲を持たせていると思う」と話す。選ばれた作品に寄せられる俵さんの講評も、時代の変化とリンクしています。

「危険ですから、黄色い線の内側までお下がりをください」という定番の構内アナウンスがうまく使われています。たとえ、危険な目にあっても君への気持ちが止められないという強い気持ちが、ユニークな方法で表現されました。(俵万智)

### 《まちなかにも展示するなどパワーアップ》

10年が経過し、この言葉の企画が文化として根付いてきたと感じています。沿線の学校では国語の授業で取り入れられ、テレビなどのメディアからも多く取り上げられています。4999通の応募があった今年もリニューアルしてこれまでとは一味違う広がりのある取り組みを行いました。まず表現方法としての21文字を定着させるためにテーマを「電車」に限らず幅広いテーマにしました。展示方法も今までの「青春石坂号」のラッピング列車という一点豪華主義ではなく、ドアや中吊り掲載、21駅の沿線情報やJR大津駅や西武大津店、ナカマチ商店街の店頭にも展示して、街中で作品に出会える機会をつくりました。



石坂号」のラッピング列車という一点豪華主義ではなく、ドアや中吊り掲載、21駅の沿線情報やJR大津駅や西武大津店、ナカマチ商店街の店頭にも展示して、街中で作品に出会える機会をつくりました。

また、京阪沿線の企業経営者と意見交換する「21文字カフェ」を開催し、運営資金の調達や発信について意見をもらいました。大津を盛り上げたい気持ちは一緒。これからも「21文字」で大津の魅力発信を目指してまいります。



八百屋さんの店先で足を止め作品を読む人の姿がある

2018 優秀賞 大津市長賞

君への気持ちは、黄色い線まで下がれない。 鎌田 南帆(13歳・滋賀県)

鎌田さんの作品を含め、100の作品が、商店街の店先やWebで公開されています。

「100の店舗」で「100の青春メッセージ」が並ぶ

### 胸キュン商店街

浜大津にあるナカマチ商店街にある《100の商店》で《100の青春メッセージ》が店頭飾られています。商店では「胸キュンパフェ(丸二果物店)」や「恋ごころ(和菓子山川)」など心すぐられる期間限定商品が発売中!(~4月8日まで)



これから三井寺や疎水の桜もお花見シーズン。商店街を散歩しながら、胸がキュンとする作品に出会っていい気分になってほしい。

◎ 団体紹介  
電車と青春21文字プロジェクト  
HP: <http://densyatoseisyun21.com>

この2つのプロジェクトは、大津市のパワーアップ事業、協働提案制度テーマ型事業として、行政と市民が協働してすすめる事業です。

## 演劇を通じて、バリアフリーのまちづくりへ 劇団「まちプロ一座」

### 《ありのままの姿を演劇で伝えたい》

障がいがあると自分も相手もなんとなく気を使いすぎて思いが伝わらないことが多いです。日常で感じたそんな経験を台詞に込めて演じています。

役者として演じるだけでなく、照明や音響などの裏方を努めたり、お客となってみってもらったり、スタッフ全てに分担・役割があります。そうすることで障がいもその人の味、個性となり、みんなで失敗も自然な助け合いでフォローしながら、一つ作品を作り上げていきます。舞台を重ねるたび自信の積み重ねになっています。



日常で感じた経験を切り取り台本作りから始まる。

### 《ママとの交流から気づいたまちのバリアの共通点》

昨年、小さい子連れのママたちと一緒に商店街を歩き、交流の機会がありました。施設やまちの中でベビーカーやベビーベットの使えないからと利用を諦めていたという声を聞きました。一人では諦めてしまうかもしれない、でも個人の問題じゃなく障がいや高齢者、子どもや母親の目線で企業や地域に伝えられれば、バリアフリーからユニバーサルデザインという形で社会はもっと住みやすくなると感じられました。



商店街の中を散策。坂道や段差、店の入り口など使い勝手と一緒に体感。

### 《人権のテーマをもっとライトに、ユーモアに》

障がい者と地域との接点はまだまだ少ないと思います。もっと演劇を通じて知ってもらいたいと、昨年から市民劇団グループ「橋」と一緒に「共生のまち大津・演劇プロジェクト実行委員会」を立ち上げました。2日間の公演を0から作るの大変でしたが、刺激になり、客層も広がりました。他にも幼稚園等で公演する、ヒーローショー《ジンケンジャー》など子どもも楽しんでもらえる演目もあります。

人権や障がいを重い話として遠ざけるのではなく、身近なテーマとして心の中に留めて欲しいと思います。これからもいろいろな人に見てもらい、心のバリアフリーとなって一歩前に進んでもらえたら嬉しいです。



今年も11月10、11日に「共生のまち大津・演劇プロジェクト」公演を実施する。

次回の公演はこちら!!  
見たことない方は是非

## 2018春 ともに生きる プレミアムデイ

日時: 4月14日(土)  
13:30~15:30(13時開館)  
場所: しんらん交流館 2階大谷ホール(京都市)  
入場料: 1,000円

まちプロ一座の代表作、「バリアフリー探偵レン」のお芝居や尼崎を拠点に活動するMAE G BAND(まえじ〜ばんど)のコンサート。そして生バンドの演奏とともに新しい挑戦に挑む、まちプロ一座の座長。小石哲也氏の手話歌が披露されるプレミアムなコラボが楽しめます。



たまに滑るときもあるけど...。自分たちが楽しくないと伝わらないと思ってます(笑)

◎ 団体紹介  
社会福祉法人共生シンフォニー・まちかどプロジェクト  
「まちプロ一座」  
TEL: 077-543-2844 FAX: 077-543-2900  
HP: <http://www.gambatta.net/publics/index/24/>